

「資格ガイドライン」を活用した 資格取得について



当院のリハビリテーション科には、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がいます。それぞれ専門の資格以外に、心臓リハビリテーション指導士や、3学会合同呼吸療法認定士などの+αの資格を持っている職員もいます。

当リハ科では、キャリア育成の一助のためにオリジナルの「資格ガイドライン」を作成しています。

今回、リハだよりを担当しています私山崎が、このガイドラインを使用し
て資格を取得したので紹介したいと思います。

資格ガイドラインの内容としては、
資格の申請、試験、講義、更新につ
いて詳細に記載されています。資格
ガイドラインを使用して良かった点
としては、

①自分で**資格取得のために必要な情
報を集約する時間が省けた**ため、試
験勉強に早めに取り掛かることが出
来たこと。

②**その資格を取得することで、どの
ような利点があるのか記載**されてい
るため、資格を取得するモチベー
ションを持てたこと。

③ガイドラインには**当リハ科の有資
格者の一覧も掲載されており、直接
アドバイスを聞くことが出来た**とい
う点が挙げられます。

3学会合同呼吸療法認定士

資格

概要

臨床工学士、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士のそれぞれの職
種において呼吸療法を成熟し、呼吸管理を行う医療チームの構成要因を養
成し、かつそのレベルの向上を図ることを目的としている。業務の中心
は、呼吸療法の実施およびその遂行に用いる機器の管理などである。

申請

申請条件	実務経験2年以上
申請期間	
申請方法	書類郵送
必要書類	申請書類
費用	3000円(登録料)

講義

申請方法	e-learning申し込み
受講方法	e-learning(2020年)
受講内容	呼吸について
日程	9/13～1/13(2021年)
費用	20000円

試験

受験資格	講習会受講者
受験方法	マークシート
試験内容	呼吸療法士認定試験
日程	12/5(2021年)
費用	10000円
難易度	合格率60%

更新

更新対象	資格取得より5年毎に必要
更新方法	書類郵送
更新内容	講習会50点以上取得
必要書類	認定証明書、点数証明書
費用	3500円

当法人における取得背景

呼吸器疾患に対する知識を身に付けられる
急性期～慢性期にかけての治療、通所・訪問リハでの呼吸に関わる全
ての事象に対する包括的なサポートが行えるようになる

備考欄

資格ガイドラインの中の1ページ

私は今回、資格ガイドラインを用いて試験勉強に取り組んだ結果、無事呼吸療
法認定士の試験に合格することが出来ました。今後もリハビリテーション科職員
は資格ガイドラインを用いて資格取得を目指し、スキルアップすることでより良
いリハビリテーションを患者、利用者さんに提供できるよう頑張っていきます。

■ 医療法人 関越中央病院

入院だけでなく外来リハにも対応しております。
主治医にご相談ください。

▶ 施設基準

心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ
脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ
廃用症候群リハビリテーション料Ⅰ
運動器リハビリテーション料Ⅰ
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
がん患者リハビリテーション料
摂食機能療法



病院リハ部門 主任
丸山あすみ 田口裕一

心臓リハ部門 主任
松下知史

■ 通所リハビリテーション関越中央

1～2時間の短時間通所リハ、6～7時間の長時間
通所リハを行っております。
相談員業務をリハ職が行うことにより、利用者様
に合わせた最適なプランを提案させていただきます。

■ 訪問リハビリテーション関越中央

病院で急性期リハを学んだ職員が対応することで、
心臓・呼吸に問題のある利用者様も安心してご利用
頂けます。



介護リハ部門 主任
狩野和子 津久井亮

空き状況	月	火	水	木	金
短時間型通所リハ 1クール 9:00～10:15	○	△	○	○	△
短時間型通所リハ 2クール 10:30～11:45	○	△	○	△	△
長時間型通所リハ 9:00～15:15	○	○	△	○	○
訪問リハビリ 13:00～17:00	△	○	○	△	△

○：受け入れ可能 △：要相談 × 受入困難

〒370-3513 群馬県高崎市北原町71

TEL：027-373-5115（代）FAX：027-372-2829

アドレス：reha@kan-etsu-hospital.com

ひとことコラム 第 68 回

夜間頻尿の改善は運動が効果的！？

夜間頻尿は多くの高齢者の睡眠を脅かす代表的な排尿障害です。そこで今回は、高齢者の夜間頻尿を運動療法で改善できるのか検討した論文を紹介します。運動療法は体操やウォーキング、ダンベル運動とスクワット運動を組み合わせたものとして、運動療法の前と実施4～8週間後に問診、体組成分析、血液生化学検査と尿検査を行い、運動療法の効果を検討しました。結果は、運動療法前と比較して運動療法後の群は、夜間排尿回数が有位に減少しました。運動療法による夜間頻尿の改善効果の主な理由は、睡眠が深くなることで、尿意が出現する閾値を増加させたことや、カテコラミン(神経伝達物質)の低下も一因として考えられています。私も夜間にトイレで起きることがあるため、昼間にしっかりと身体を動かして、ぐっすり眠れるようにしたいと思います。

